

安全方針と  
安全重点施策

当社は輸送の安全確保を基本理念として、法の遵守と安全を最優先とし  
安全マネジメント体制を確立し、安全運航の徹底を実行します。

- ①ヒヤリハットを分析しヒューマンエラーゼロを目指す
- ②船体や機関の点検、保守整備を毎日確実に実施する

安全に係る情報

船名及びトン数		パールクィーン	みらい	99TRITON	リラクルーズ (海月・海星)	ヨットセーリング (みさご・スナメリ)
旅客定員		199トン・280人	174トン・200人	18トン・50人	1.5トン・12人	4.7トン・11人
救命設備	救命胴衣大人用	129着	2024年度は運休	63着 (+インフレーター10着)	着	着
	救命胴衣小人用	59着 幼児用 0着		着 幼児用10着	着 幼児用 着	着 幼児用 着
	救命浮環	2個		2個	個	個
	救命浮器	22名用13個		12名用2個/4名用1個	名用 個/ 名用 個	名用 個/ 名用 個
	膨張式救命いかだ	—		—	—	—
無線設備	携帯電話	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	
	海上特種無線 VHF	無	無	無	無	
	衛星電話	—	—	—	—	
通信緊急手段	携帯電話	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	NTTドコモ 通信圏内 エリアマップ別紙	
	海上特種無線 VHF	無	無	無	無	
	衛星電話	—	—	—	—	
船舶検査受検日		令和6年1月19日	令和5年5月12日	海月：令和6年2月21日 海星：令和6年2月29日	令和5年10月27日	
保険	船客傷害賠償保険	1億円 / 1人	1億円 / 1人	1億円 / 1人	1億円 / 1人	
	契約期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日				
航行海域	旅客定期航路	—				
	旅客不定期航路	九十九島湾内（平水区域）の遊覧				

◎安全性向上への取り組み

当社は、九州運輸局の許可を受けた旅客不定期航路事業及び人の運送をする不定期航路事業を行っており、運航に際しては九州運輸局に届出た安全管理規程を遵守し、必要に応じた教育・訓練・機器整備・安全点検を実施しており、安心できる海上輸送の提供に努めています。

■緊急時・気象海象の急変・安全に係る情報相互交換等、佐世保旅客船協会会員である関係会社との連携を図っています。

■年1回の定期検査をはじめとして、定期的な乗組員による整備・発行前点検の徹底等を行い、機関・航海計器等の保全を行います。

■旅客船協会の訓練・研修・船員災害防止協会講習への参加・社内船内での教育訓練等を行い、乗組員安全運航への周知徹底を行います。

■船長採用及び船長登用については、航路の熟知度・実務経験年数・社内船長の意見等を経営トップが判断して船長として任命します。

◎船舶の運航を可と判断する理由

当社の旅客船運航に際しての条件及び対応は、安全管理規定（運航基準、作業基準、事故処理基準）で厳しく定めており、気象、海象の状況、今後の航路海域及び周辺海域、目的港の状況、予報等で、当該船長、運航管理者協議を行い運航中止基準値の場合や、運航中止基準値に達すると予想される場合及び、協議で運航判断に迷う場合は運航を中止します。

◎気象海象による運航中止基準

港名	風速	波高	視程	備考
鹿子前港	13m/s 以上	1.5m以上	300m以下	運航中止基準値以下の場合も、各港の立地条件を考慮し、風向、超水流等の影響がある場合には、運航を中止します。
九十九島航路内	13m/s 以上	1.5m以上	300m以下	

◎救命具の設置場所、使用方法 : 船内各所の掲示物でご確認ください。

◎緊急避難通路 : 船内各所の掲示物でご確認ください。